

平成28年度 決算概要

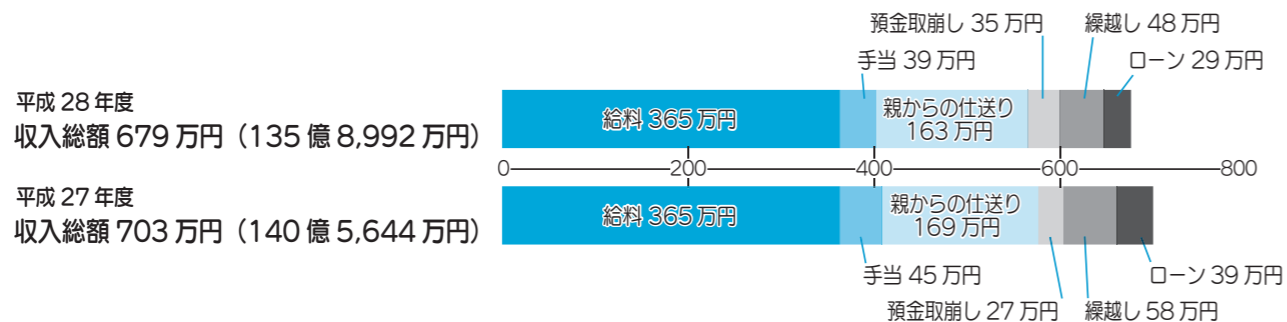
決算状況をより分かりやすくお知らせするため、決算額の2000分の1を家計に例えて表していきます。 ※()内は実数

平成28年度の決算では、41万円(8億2,194万円)の黒字となりました。そこから、平成29年度へ繰越した事業に必要な金額を除いた実際の繰越額は38万円(7億6,611万円)となりました。

収入 ※()内は実額

◆平成28年度は、大きな建設事業が前年度中に完了したことで、「ローン」が減少した一方、「繰越し」や「親からの仕送り」が減少したことにより、「預金取崩し」が増加しました。

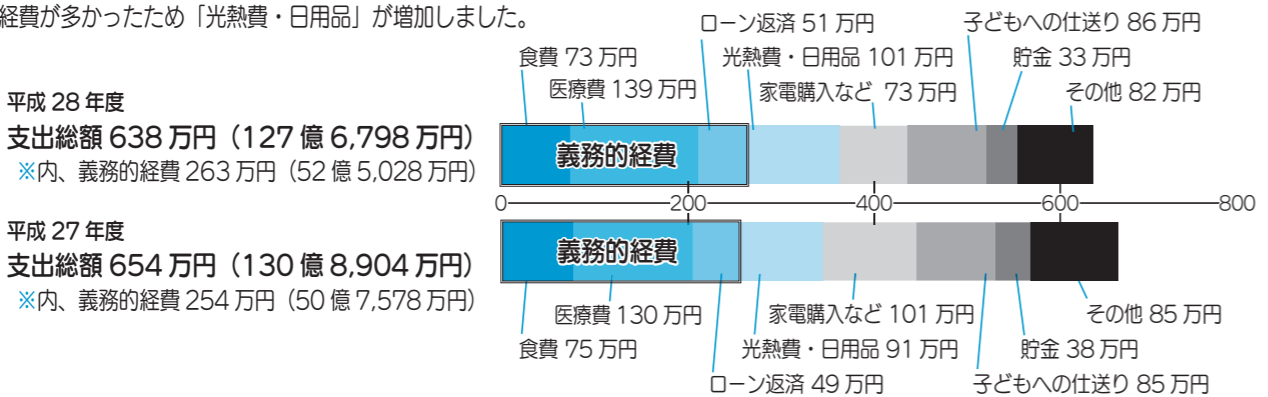
給料…地方税、地方交付税
 手当…分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、諸収入
 親からの仕送り…地方譲与税、各種交付金、国庫支出金・県支出金
 預金取崩し…繰入金 繰越し…繰越金 ローン…地方債



支出 ※()内は実額

◆平成28年度の支出の特徴は、前年度にあった児童館の改築など大規模な建設事業が完了したことにより、「家電購入など」が大きく減少したことです。また、小・中学校の理科備品の整備による経費が多かったため「光熱費・日用品」が増加しました。

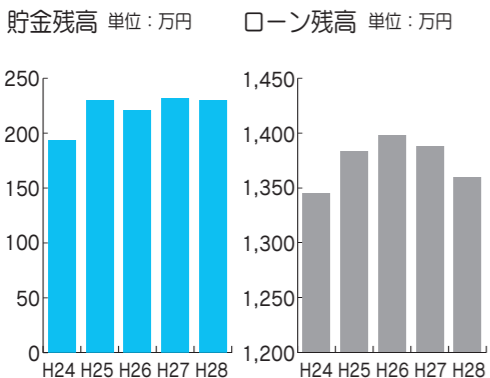
食費…人件費 医療費…扶助費 ローン返済…公債費
 光熱費・日用品…物件費 家電購入など…普通建設事業費、維持補修費
 子どもへの仕送り…繰出金 貯金…積立金 その他…補助費など、貸付金



◆支出の中でも削減することが困難な義務的経費(食費(人件費)、医療費(扶助費)、ローン返済(公債費))の割合が高いと、自由に使えるお金が少なくなり、経済(行政)活動が制限されます。

平成28年度の義務的経費が支出総額に占める割合は、41.1%(263万円(52億5,028万円))となりました。平成27年度は38.7%(254万円(50億7,578万円))でしたので、対前年度比3.4%(9万円(1億7,450万円))の増となりました。「医療費」や「光熱費・日用品」が増えた一方で、「家電購入など」が大きく減少したことによって投資的経費が減り、結果として義務的経費の歳出全体に占める割合が増加したことによるものです。義務的経費の中でも、「医療費」は増加傾向にあるため、今後の動向に注意する必要があります。

●基金(貯金)、市債(ローン)残高の推移



基金(貯金)…財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の合計
 市債(ローン)…一般会計、特別会計、公営企業会計の合計

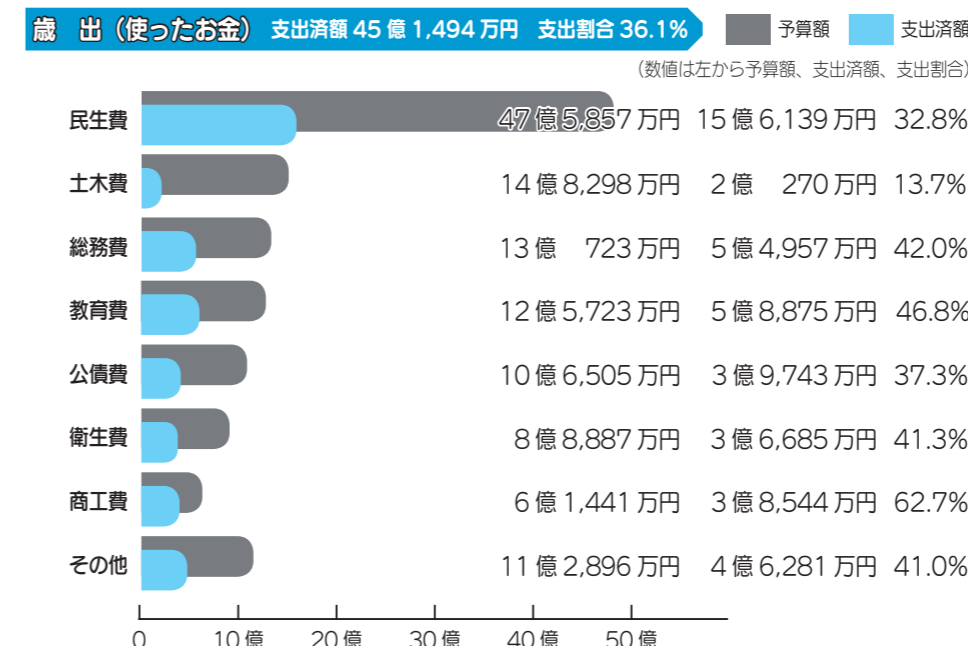
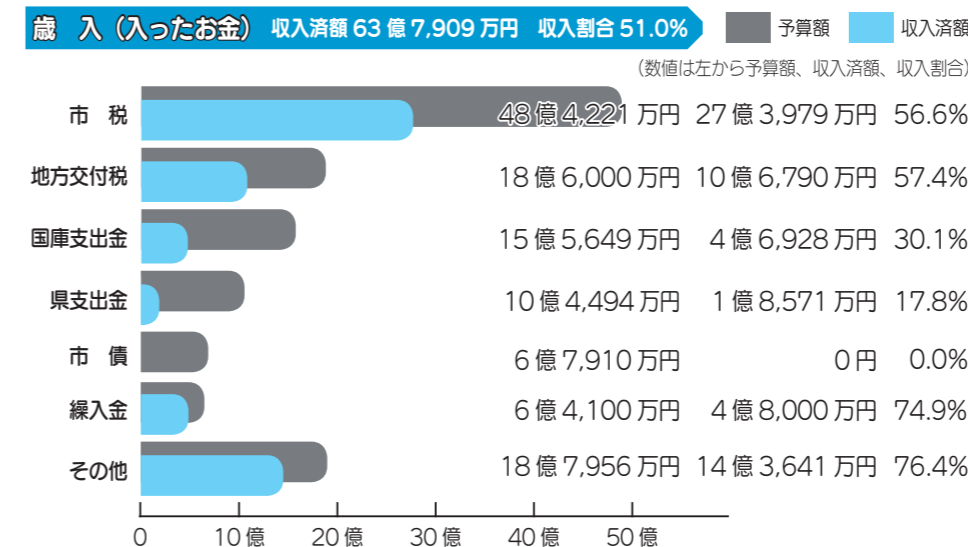
◆できるだけ地方債に頼らない財政運営を行ったことで「ローン残高」は1,360万円(272億289万円)と、前年度比▲28万円(▲5億5,023万円)となりました。必要な資金を確保するため基金を取り崩し、「貯金残高」も230万円(46億2万円)と、前年度比▲2万円(▲4,734万円)となりました。今後も毎年の「ローン返済」を控えていることから、引き続き経費の節減合理化を図り、財政の健全化に取り組んでいくこととしています。

●特別会計・公営企業会計(水道事業)決算

| 会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引 |
|---------------|------------|------------|------------|
| 国民健康保険事業 | 34億4,135万円 | 33億4,598万円 | 9,537万円 |
| 後期高齢者医療事業 | 7億4,784万円 | 7億4,166万円 | 618万円 |
| 介護保険事業 保険事業 | 29億188万円 | 28億5,421万円 | 4,767万円 |
| 介護保険事業 サービス事業 | 1,379万円 | 1,379万円 | 0円 |
| 下水道事業 | 20億3,590万円 | 20億2,894万円 | 696万円 |
| 農業集落排水事業 | 1億5,759万円 | 1億5,759万円 | 0円 |
| 工業団地造成事業 | 6,431万円 | 6,403万円 | 28万円 |
| 水道事業 | 5億1,935万円 | 6億6,324万円 | ▲1億4,389万円 |

平成29年度 予算執行状況 (平成29年9月末現在)

●一般会計予算執行状況 (予算額125億330万円) ※平成28年度からの繰越し分を含む



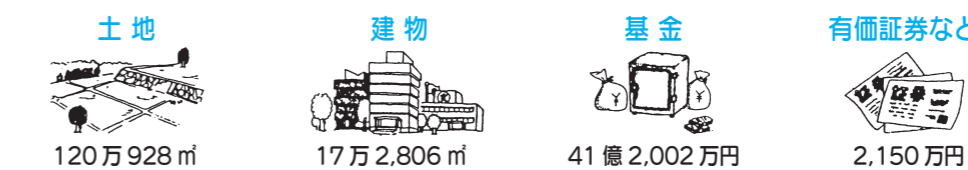
●特別会計予算執行状況

| 会計名 | 予算額 | 歳入 | | 歳出 | |
|---------------|------------|------------|-------|------------|-------|
| | | 収入済額 | 収入割合 | 支出済額 | 支出割合 |
| 国民健康保険事業 | 35億5,676万円 | 13億5,690万円 | 38.1% | 15億747万円 | 42.4% |
| 後期高齢者医療事業 | 8億156万円 | 1億3,665万円 | 17.0% | 2億5,847万円 | 32.2% |
| 介護保険事業 保険事業 | 30億2,777万円 | 14億588万円 | 46.4% | 11億8,286万円 | 39.1% |
| 介護保険事業 サービス事業 | 1,071万円 | 555万円 | 51.8% | 503万円 | 46.9% |
| 下水道事業 | 24億2,285万円 | 2億8,114万円 | 11.6% | 6億5,864万円 | 27.2% |
| 農業集落排水事業 | 1億6,492万円 | 2,195万円 | 13.3% | 6,495万円 | 39.4% |
| 工業団地造成事業 | 8億1,909万円 | 54万円 | 0.1% | 3億2,578万円 | 39.8% |

●公営企業会計予算執行状況

| 水道事業 | 歳入 | | | 歳出 | | |
|-------|-----------|-----------|-------|-----------|---------|-------|
| | 予算額 | 収入済額 | 収入割合 | 予算額 | 支出済額 | 支出割合 |
| 収益的収支 | 4億6,186万円 | 2億2,174万円 | 48.0% | 4億1,701万円 | 8,145万円 | 19.5% |
| 資本的収支 | 7,040万円 | 69万円 | 1.0% | 3億1,967万円 | 7,416万円 | 23.2% |

市有財産状況 (平成29年9月末現在)



滑川市の 財政事情

問合せ先 財政課(内線261・262)

市の財政状況を、条例の定めにより1年に2回、市民の皆さんにお知らせしています。

今回は、平成29年度予算の上半期の執行状況、平成28年度決算、市の財産状況を掲載しています。

用語解説

【歳入の部】市税

市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を総称したものです。

地方交付税

全国の市町村が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。

国庫支出金・県支出金

いろいろな事業に対する国・県からの補助金、委託金などです。

市債

施設の整備などのために借りのお金です。

繰入金

各基金から一般会計に入ってきたお金です。

【歳出の部】民生費

高齢者、障がい者、児童の福祉や生活保護に使われます。

土木費

道路、公園、市営住宅などの建設や管理に使われます。

総務費

市の全般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。

教育費

小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。

公債費

借り入れた市債の元金・利子などの償還に使われます。

衛生費

ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。

商工費

商業や工業、観光の振興などに使われます。

【各会計の解説】一般会計

市税収入を主な財源として、福祉、保健衛生、土木、教育、消防など市の仕事の大部分をまかなう会計です。

特別会計

特定の事業を行う場合や特定の収入を特定の支出に充てる場合、一般会計とは別にその経理を明らかにするために設けられた会計で、滑川市には国民健康保険事業や介護保険事業など、6つの特別会計があります。

公営企業会計

民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなうという、独立採算を原則とする事業について設けられた会計です。本市では水道事業会計が該当します。